

絶対契約 (ヨシュア 10:12-15)

世の中は、いろいろなことがたくさんありますが、すべて変わり、消えて行くものばかりです。その中で、永遠に変わらない絶対を握ることが、人生勝利の鍵です。なにが絶対なのでしょう。世の人は、自分の覚悟や気持ちを表すときに、絶対を使いますが、人間には絶対はありません。絶対は神様のものであり、神様から出ただけに言えることです。ほかのなにかに目を奪われることなく、神様を見上げて、神様から出た契約に目を向けましょう。神様は契約を人間に与えてくださいました。その契約を自分のことにした契約の人の歩みには、人の限界や理解を越えるわざが現れます。奇跡をとまなう勝利者になるのです。きょうの聖書箇所から、そのことを見てみましょう。

ギブオンが裏切ったということで、カナン部族が連合軍を作って、ギブオンを攻めてきました。ギブオンはヨシュアに助けを求めたので、イスラエルはギブオンを助けに行きます。戦いの途中で日が沈みそうになりました。イスラエルの民は、その土地には疎いので、日が暮れて暗くなると、その土地のことをよく知っているカナンの連合軍のほうが有利になってしまいます。そこで、ヨシュアが「太陽よ、止まれ。月よ、止まれ」と祈ったのです。そして、神様が答えられ、イスラエルは大勝利をおさめるようになります。これは、契約を信じる者が契約の道を歩むときに、契約成就のために与えられた神様のみわざです。

神様の絶対契約に集中しましょう。世の中には、必要で、立派なことはたくさんありますが、絶対はないので、世のことで揺れる必要はありません。絶対は、キリストが人間、人類の救いの契約として与えられたことです。キリストが絶対です。努力、熱心、最善は必要ですが、人間の問題は解決しません。金持ちになって豊かになると便利ですが、問題は解決せず、幸せにもなれませ

ん。まばゆいばかりの発展、変化しつつある世の中、すばらしいものですが、それでは人生の救いはありません。ほんとうの人生の成功、幸せはキリストしかありません。教会が力がなく、揺れるのは、キリストが絶対でないからです。絶対は、神様から出ただけです。ほかはすべて相対的な、消えゆくものです。神様から出たキリストを握る者は、揺れない勝利者として立ちます。

また、キリストの中にある救いの祝福は、天にあるすべての祝福であり、完璧な祝福で絶対です。神様ご自身が内に入ってください、永遠にともにおられます。背景が天の御国なので、いつ死んでも天国だという希望があります(ピリピ 3:20)。そして、その祝福を奪えるものはだれもいません(ローマ 8:39)。どんなことがあっても、圧倒的な勝利者になります(ローマ 8:35-37)。キリスト・イエスの中にある、永遠のいのちの祝福は絶対です。これは変わらない神様の契約です。どんなことがあっても、この祝福は変わらないので、条件、環境、状況に振り回される必要はありません。自分が弱く、無能で無視されるとしても、救いの祝福は変わらないので、絶対だとにぎりましょう。うつ状態になったり、落胆するときも、この救いの祝福は絶対です。これが絶対だと握らずに、なにかほかのものと探すなら、方向を失うようになります。どうであっても、絶対を握りましょう。救いの祝福は絶対なので、人生はあきらめる必要はなく、人生の希望もあきらめる必要はありません。絶望にひたることはないのです。

そして、キリストによる伝道、福音宣教は絶対です。神様は絶対の祝福を受けた信者、教会を通して伝道、福音宣教をなさいます。伝道は絶対なので、信者や教会の条件に左右されることはありません。人間的立場は下っ端でも関係ありません。初代教会はほとんどが奴隷でした、ペテロは無学で無能でした。しかし、なんの条件もなく、



神様の契約なので、伝道は絶対になされました。できない状況、不可能に見える状況に左右されないようにしましょう。現場は既存の文化、伝統、ルールがいっぱいです。伝道していると、そのルールを破ったと迫害もあります。しかし、用いられる信者、教会は最初はマイノリティーでした。巨大な世の中、既存の伝道文化に対して可能かと考える必要はありません。絶対ですから、頭を使う必要がないのです。揺れないでいれば勝利者となります。伝道のプロセスにはいろいろあります。それにだまされないようにしましょう。良い反応もありますが、ほとんどは拒否してきます。しかし、どんな反応でも伝道は絶対なのです。残りの人生、絶対のために行きましょう。実がある、ない、関係ありません。多くの人が信仰を捨てても、伝道は絶対なので邪魔になりません。感情に引きずられるのではなく、絶対に変わらない契約を握りましょう。

絶対契約は、キリスト、キリストの中の祝福、救われた人(教会)を通してなされる神様の伝道です。絶対ゆえ、奇跡も起きます。奇跡は信じて、求

める必要はありません。契約が絶対だと握る人は奇跡の主人公です。絶対を握りましょう。そうすれば、伝道者の生き方の中で、一心、全心、持続が生まれます。この絶対をわざと握り、心と意思を契約に縛る時間を持ちましょう。それが定刻の祈りです。絶対を握り、落胆せず、お祈りをささげるのです。人々の思いを越える予想と計算をひっくり返す神様の奇跡が現れるでしょう。現場灯台として輝きます。伝道は、信者、教会を通して神様がなされる奇跡です。伝道は絶対です。止めることができることは存在しません。神様の契約を絶対として信じて、絶対を握る絶対弟子として立ちましょう。そして、残りの生涯、絶対弟子を探しましょう。人生の勝利、奇跡があらわれます。この契約以外は、すべて相対的なものだと、絶対を握るとき、サタンが縛られ、不信仰や偽りが砕かれます。奇跡がともなう勝利者になるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 10:12-15 絶対契約

なるほど/ 変わりつつ又消えていく不完全な世の中で勝利する鍵は、絶対を握ることであり、その絶対は神からのもので、神の契約である。だから、絶対契約を信じる人は勝利者となり、奇跡の主人公になって、世を生かす現場灯台として立つようになる。ならば/ キリストと救いと伝道の契約を絶対として告白し、握って、落胆しないように。絶対弟子として絶対弟子を探そう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年6月2日)

1 部礼拝： 地を造られた主 (エレ 33:1-9)

目に見えない暗やみの存在がすべての家庭と次世代を崩して、教会が閉鎖する危機の時代に、福音を正しく知って伝える祝福の預言者とされて感謝します。天のメッセージを持って、神様の方法を知って、神様が与えた答えを知る預言者の道を歩みますように。私個人に与える神様のメッセージと現場に行つて与えるメッセージ、時代に与えるメッセージを持って伝えて、次世代、現場、時代を生かしますように。今日私にくださった神様のことをば私のメッセージとして握りますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝： 幼子たちがパンを求めても、それを裂いて彼らにやる者もない (哀 4:1-5)

肉体の戦争ではなく、神様が天の軍勢を遣わすしかない霊的戦争ができる祝福をくださり感謝します。霊的戦争の始まりが教会回復であることを知って、237 神殿、すべての家はミッションホーム、すべての地域に RUTC を建てますように。霊的戦争を通して私たちの次世代を奴隷、捕虜、属国から解放しますように。死んで行く次世代を生かすようにあちらこちらでみことば運動、RUTC 運動を通して死んで行く 777 現場を生かしますように。正しい地教会運動、正しい教役者運動、正しい宣教運動をしますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。